

なんたん 社協だより

第 66号

2025. 10

すべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり



南丹市内で活躍するボランティア

特集

福祉教育 P.2

目次

- ・福祉教育／ボランティアのやりがいを次世代へつなぐ P.2
- ・サロン対抗選手権！ みんなでなんたんグランプリ／
第74回京都府社会福祉大会表彰報告 P.3
- ・社会福祉協議会の紹介（第11回 つくし園）／
【予告】 ボランティア体験／フードパントリー P.4
- ・赤い羽根共同募金／ふくしまライ共創金（会費）お礼／善意のご寄付 .. P.5
- ・なんたんオレンジガーデニングプロジェクト P.6



南丹市社協マスコット
「ニャンたん」

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まっています。

皆さまからお寄せいただいた募金は、南丹市内の人々を支える様々な福祉活動に役立てられます。

福祉教育

園部 小学校 ガイドヘルパー体験 ～目が不自由な方の気持ちを想像しよう～ 7月9日

ガイドヘルパーの方2名に来ていただき、ガイドの方法を学びました。案内される役の児童はアイマスクを着用し、どんな時に不安を感じるのか、どのようにしてもらえば安心するのかを実際に体験することができました。



▲ガイドヘルパー体験

南丹市社協では、地域の方々や関係機関の皆さんにご協力いただき福祉教育に取り組んでいます。小中学校から高校、大学、専門学校まで、それぞれの段階に応じた福祉への学びをサポートしています。今回は1学期に行った授業の中から一部を紹介します。

八木西 小学校 ふくして何? ～UD製品に触れて、体験しよう!～ 5月9日

「ふくし」は、ふだんのくらしの幸せのためのものという学びの後、すべての人が利用できるよう設計された身の回りにあるユニバーサルデザイン(UD*)製品を実際に触り体験しました。

※年齢や能力、状況に関わらず、できるだけ多くの人が使いやすいように、製品や建物・環境をデザインする、という考え方のこと。



▲ふくしを学ぶ



▲手に取って体験

美山 小学校 車いす体験 ～みんなが暮らしやすい環境とは?～ 7月10日

車いすについて学習しました。操作時の説明後、車いす操作と乗る側の両方を体験しました。実際に車いすに乗ってみて、相手の目線に合わせて声掛けする大切さを学ぶことができました。

協力：美山やすらぎホーム



▲操作時の説明



▲リフト車の体験

殿田 中学校 防災教育! ～災害時に必要なものを考えてみよう～ 5月16日

非常用持ち出し袋の中身を、背負って走れる重さにするため、本当に必要なものは何か意見を出し合いました。災害時の予想外の出来事に自分ならどう対応するか、考える機会となりました。

▶非常食(いそべもち)



▲非常用持ち出し袋を検討するグループワーク



明治国際医療大学 看護学科 6/30

ボランティア論 ～ボランティアのやりがいを次世代へつなぐ～

- 1限目 インタビュー
学生からボランティアの皆さんへ
- 2限目 グループワーク
考えよう地域共生社会、そしてボランティア
- 3限目 講義
じぶんごとのまちづくり～ボランティアだからできる地域課題の解決へ向けた実践

講師

4町ボランティア連絡協議会 ボランティアの皆さん
みんなのTERAKOYAおおいがわ 國府美紀さん
南丹市役所 こども家庭課
南丹市社会福祉協議会 地域支援課

学生の感想

- 困っている人を助けるだけでなく、自分の特技や好きなことを活かせるボランティアがあることを知り、参加してみたいと興味を持つことができた。
- ボランティアは『利他のため』に活動すると熱心に語っておられたことが印象的で、ボランティア活動に誇りをもっていらっしゃるのだと感じた。

学生の学びを応援したいという
多様なメンバーが力を結集!
ボランティアの楽しさを伝えてきました



▲学生に自身の活動を伝えるボラ連の皆さん



▲國府さんの講義「じぶんごとのまちづくり」

サロンの対抗選手権!

みんなで

なんたんグラブプリ

略してみんグラ

みんなグラとは? 南丹市内のふれあい・いきいきサロンが、決められた期間内に同じ競技に挑戦しナンバーワンを競い合う企画です。

第4回は

キャッチTHEペーパー!

挑戦お待ちしております!

実施期間
令和8年
2月27日(金)
まで

● 投げる人1人以上、受ける人2人を決める。
● 新聞紙で玉を40個作る。
● 3m離れたラインから玉を1個ずつ投げる。
● 広げた新聞紙を2人で持ち、投げた玉をキャッチする。
● 新聞紙に乗っている玉数を社協に報告する。
➡キャッチできた玉数の多いサロンがナンバーワンとなります。

ルール

詳しくは、各サロンにお配りしている「サロンメイト」をご覧ください。各事務所までお気軽にお問い合わせください。

サロンメイト

みんなグラ
ルール動画

第74回 京都府社会福祉大会が開催されました

日にち：令和7年9月4日 場所：京都府民総合交流プラザ 京都テルサ

長年、社会福祉事業やボランティア活動などに携わり、顕著な功績を修められた個人、団体の皆さんに表彰状・感謝状が贈られました。これまでの活動に深く敬意を表しますとともに、南丹市の地域福祉の推進にお力添えをいただいていることに厚く御礼申し上げます。



▲大会の様子

京都府知事表彰

社会福祉事業・ボランティア功労者

(民生委員・児童委員)
八木節子
(ボランティア団体)
と金の詩
美山傾聴ボランティアみみずくの会
※その他、社会福祉事業従事者として、
当会職員3名含む32名



▲表彰を受けると金の詩代表 大山勝義さま

京都府共同募金会会長感謝

(団体) 南丹市老人クラブ連合会会員一同
京都聖カタリナ高等学校
南丹市役所職員一同
南丹市社会福祉協議会職員一同
(個人) 観瀨英世 川勝淳式

京都府社会福祉協議会会長表彰

- 民生委員・児童委員特別功労者
谷口和隆 下間壽雄 小林弘和
- 社会福祉協議会活動功労者
(南丹市社会福祉協議会 ふれあい委員)
井尻雅代 船越悦子
小林光子 田中幹生
松本健 矢野篤子
左近幸広 奥村恭子
田中義 植村勝
田中日出男
- ボランティア功労者
(個人) 芦田美子 廣瀬滋子 寺町紀代子
(団体) 深見グループ 上胡麻ボランティアグループ
いきいき小桜 サロン日置



▲出席者の皆さん

※その他、社会福祉事業特別功労者として、当会職員3名含む19名
【敬称略・順不同】

ふだんのくらしをしあわせに 社会福祉協議会の紹介

第11回

児童発達支援事業・
保育所等訪問支援事業 つくし園



▲職員研修

つくし園は、就学前のお子さんの発達支援を行っている児童福祉施設です。1クラスおおよそ3～4人程度の小集団で、一人一人の発達に応じた専門的なサポートを行っています。「やってみたら出来た！」という自信や、自分の思いを



▲からだ作り



▲教室の様子

伝えたら、受け止めてもらえたという経験を積み、人と関わる心地よさや楽しさを育むことを大切にしています。小集団活動での遊びを通して、将来社会の中で自分らしく生活していくために、今必要な経験を提供します。

詳しくは… つくし園まで 0771-62-2978

予告 ボランティア体験

園部町、八木町ボランティア連絡協議会では「ボランティア」について知っていただくきっかけ作りをしています。活動体験などでは大人も子ども一緒に楽しめる内容を企画中です。ぜひお越しください！

- 八木 12月6日(土) 南丹市八木市民センター「iスタやぎ」
- 園部 12月14日(日) 南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」

内 容：活動発表、体験コーナーなど



▲昨年度の様子 手話体験



少しのおすそわけが、大きな支えに フードパントリーの取り組み

フードパントリーとは相談援助をする中で、必要としている世帯に食料品を無料で提供し、生活の立て直しを応援する取り組みです。

※生活保護受給中の方は原則対象外です

食料品のご寄付のお願い

フードパントリーでお渡ししている食料品は、市民の皆さんや企業からの温かいご寄付によって支えられています。

ご家庭に余っている食料品がありましたら、社協本所や各事務所の窓口へご寄付をお願いいたします。

ご寄付いただきたい食料品の例(生もの以外)

缶詰、乾麺、レトルト食品、お米、お菓子、海苔、ふりかけ、など長期間保存ができるもの

※いずれも賞味期限が2か月以上のもの

詳しくは…

生活相談センターまで 0771-72-3020

じぶんの町をよくするしくみ



赤い羽根共同募金



はねっと 南丹市



詳しくは「はねっと 南丹市」で検索

赤い羽根共同募金は、昭和22年に始まった社会福祉法に定められた募金です。

変化していく現代社会のなかで、公的なサービスだけでは対応しきれない問題の解決にむけて、必要な資金を集めています。南丹市内で集まった募金の約7割は、市内の福祉活動に使われています。残りの3割は都道府県域の広域的な活動や災害支援に使われます。共同募金運動は、地域の人々が安心して暮らせるよう、地域の課題を解決していくための運動です。

様々な方法で募金にご協力いただいています。

- 戸別募金：ご家庭からの募金
- 法人募金：事業所や企業からの募金
- 職域募金：職場の皆さまからの募金
- 街頭募金、イベント募金：街なかやイベント開催時での募金
- 寄付金付き自動販売機：寄付できる自動販売機の設置、利用



過去の助成事業による活動の様子は、上記のQRコードからご覧いただけます。



健康麻将サークルで高齢者の健康づくり！仲間作り・生きがいづくり活動 生煙区(日吉町)



ふれあいカフェやまぼろし(美山町)

南丹市内で活用されています。



ひとりひとりのやさしさが、じぶんの住む町を変えていきます。

令和7年度ふくしミライ共創金(南丹市社協会費)へのご協力、ありがとうございました。



総額 **4,311,500円** 令和7年8月31日現在

ご協力いただきましたふくしミライ共創金は、地域福祉をはじめとする社会福祉事業の推進のために大切に活用させていただきます。

今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和7年6月1日～令和7年8月31日受付分
善意のご寄付
ありがとうございました

なんたん健幸ポイント2024寄付	様	71,500円	福祉のために
内藤 吉子	様	100,000円	亡夫の供養に
全京都建築労働組合船井支部	様	25,260円	福祉のために
北星中学校昭和34年度卒同窓会	様	4,362円	福祉のために
下伊豆 勝	様	100,000円	福祉のために
匿名寄付	2件	110,700円	福祉のために
公益財団法人NKP福祉財団	様	米多数	福祉のために
匿名寄贈	1件	米多数	福祉のために
匿名寄贈	1件	動物用キャリー多数	福祉のために

南丹市では認知症啓発活動として2021年から「なんたんオレンジガーデニングプロジェクト」を実施しています。認知症のシンボルカラーのオレンジ色の花の種をお配りしたり、ワークショップを開催し認知症についてのミニ講座を実施しています。今回は、8月に実施した寄せ植え体験について紹介します。

8月7日(木)、昨年に引き続き、京都府立農芸高校の生徒さんにお世話になって、寄せ植えに取り組みました。12名の方にご参加いただき、生徒の皆さんに手伝っていただきながら、オレンジ色の花を中心に、数種類の花を思い思いに配置。素敵な寄せ植えが完成しました。

その後、認知症ミニ講座として東京都板橋区作成の『いたばし認地笑かるた』を使って、認知症について学びました。認知症の基本的な知識や、どういふふうに対応したら良いかなど、参加者と生徒の皆さんが一緒になって学ぶことができました。

認知症について話を聴くのは初めて、という方もいらっしゃいましたが、寄せ植えをきっかけに、地域で支援の輪が広がることを願っています。



▲楽しく学べる「かるた」



▲「かるた」の実践と認知症の解説



▲お手伝いいただいた農芸高校の生徒の皆さん



▲オレンジ色の花を見えよく配置



▲農芸高校の生徒の皆さんのオリジナルのプレート

南丹市認知症地域支援推進員



Instagram



Facebook

詳しくは… 南丹地域包括支援センター 八木事務所まで 0771-43-0551



南丹市社協
ホームページ



南丹市社協
メール



南丹市社協
TEL